

動力プレス事業内検査者

研修コース受講申込書 (大阪)

お申込みは郵送のみ (郵送資格取得の必要無し) (送料別)

		受付番号		※	
講座回数及び期間	第1希望	第 回 / ~ /		第2希望	第 回 / ~ /
ふりがな氏名		印	性別 男・女	生年月日	S/H 年 月 日生
現住所	〒 都道府県				電話
勤務先	ふりがな事業所名				
	所属部課名	入社年月日	年 月 日		
	所在地	〒			
		電話	FAX		
連絡担当者	ふりがな氏名 電話 所在地 〒	所属部課名 FAX	資格照合 ※		
宿泊期間 (宿泊は無料。最終日は宿泊できません。)	開講日の 前日から宿泊 ・ 当日から宿泊 / 宿泊不要 (○印で選択)				
備考	★複数(2件以上)お申込みの場合、請求書は <input type="checkbox"/> まとめて発行希望 <input type="checkbox"/> 個別に発行希望				

この宛先に関係書類をお送りしますので、正確にご記入ください。

ご記入頂いた個人情報につきましては、当協会が責任を持って保管し、本講習の的確な実施(連絡、運営、関係行政機関への報告、後日の問い合わせ対応等)のみに利用させていただきます。

様式 20180824

切り取らないで下さい

送 付 先	〒	所在地
		(事業所名)
	氏名	様

動力プレス事業内検査者研修コース受講票

入所時に受付にてご提出願います

開講日当日受付時間 8:00~9:00
*万一遅れそうな場合は必ずお電話下さい。

問合せ先：大阪安全衛生教育センター
TEL 0721-65-1821
FAX 0721-65-1472

裏面に氏名を記載のうえ
写真貼付
縦3.0cm
横2.4cm

※受付番号以外は全てご記入ください。

本票は、この講習の合否の連絡があるまで、大切に保管しておいて下さい。

受 講 者	講座回数	※ 受付番号	ふりがな	生年月日
	第 回	第 号	受講者氏名	S/H 年 月 日生
	受講年月日	~		宿泊 (宿泊は無料。最終日は宿泊できません。)
	受講確認係員印	※第1日	※第2日	※第3日
		開講日の 前日から宿泊 ・ 当日から宿泊 / 宿泊不要 (○印で選択)		

実習時に使用しますので作業服をご持参下さい。
ヘルメット・安全靴(22.5cm~29.0cm)は当センターでご用意しますので不要です。

(申込書裏面)

受講資格		業務経歴※1	
イ 学校教育法による大学 ^{※2} ・高等専門学校において工学に関する学科を専攻して卒業した者	1) 動力プレスの点検若しくは整備の業務に2年以上従事した経験を有する者 2) 動力プレスの設計若しくは工作の業務に5年以上従事した経験を有する者		
ロ 学校教育法による高等学校において工学に関する学科を専攻して卒業した者	1) 動力プレスの点検若しくは整備の業務に4年以上従事した経験を有する者 2) 動力プレスの設計若しくは工作の業務に7年以上従事した経験を有する者		
ハ 上記1、2以外の者で経験のみで受講する者	1) 動力プレスの点検若しくは整備の業務に7年以上従事した経験を有する者 2) 動力プレスの設計若しくは工作の業務に10年以上従事した経験を有する者		
ニ プレス機械作業主任者技能講習を修了した者	1) 動力プレスの作業に10年以上従事した経験を有する者		
ホ その他厚生労働大臣が定める者()を修了した者	1) 動力プレスの点検若しくは整備の業務に__年以上従事した経験を有する者 2) 動力プレスの設計若しくは工作の業務に__年以上従事した経験を有する者		
業務従事期間	年 月 から 年 月まで (年 ヶ月)		
従事していた業務内容			
受講資格に係る添付書類 (○で囲む)	1 卒業証明書 (卒業)	2 修了書 (写) ()	

※1 動力プレスの付帯装置(金型、シャー等)の点検、整備、設計、工作やシャーリング作業は該当しません。

※2 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された方(当該課程を修めたものに限る)又はこれと同等以上の学力を有すると認められたものを含む

事業場	動力プレスの保有台数	ポジティブクラッチプレス	台	液圧プレス	台
		フリクションクラッチプレス	台	その他(特定自主検査対象)	台
	従業員数	名	プレス作業常時使用労働者数	名	プレス保全課(有・無)
上記のとおり相違ないことを証明いたします。					
令和 年 月 日					
所在地					
会社又は事業場名					
代表者 職氏名					

印

(注) 当センターからの問い合わせることがありますので、受講申込書をコピーしておいて下さい。

できるだけ枠内上部に「役職印」を押印してください。

I 研修科目及び時間(講師の都合により一部変更もあります。)

<1日目>

8:00~9:00	受付
9:20~10:40	オリエンテーション
10:50~13:40	関係法令
13:50~16:05	動力プレスの検査に必要な一般的事項に関する知識① (動力により駆動されるプレス機械の種類及び構造)
16:15~18:25	動力プレスの検査に必要な一般的事項に関する知識②-1 (「制御系統・空圧系統・油圧系統・安全機構」を含む)

<3日目>

8:30~12:25	実技研修
13:15~14:50	実技研修 (記録の整理・実技結果の評価)
15:00~16:00	修了試験

<2日目>

8:30~14:50	動力プレスの検査に必要な一般的事項に関する知識②-2 動力プレスの検査の方法に関する知識
15:05~16:25	実技研修の説明・検査実習報告書の提出の方法等
16:40~18:30	実技研修

II お持ちいただくもの

- 1 受講票 (当用紙: 受付で提出ください。)
- 2 筆記用具 (鉛筆、消しゴムは必ずご持参下さい。)
- 3 作業服 (3日目の実習で使用します)

(注) 安全帽(ヘルメット)、作業手袋(軍手)、安全靴(22.5センチから29センチまで)は教育センターで貸与します。

お問合せ先

中央労働災害防止協会 大阪安全衛生教育センター

〒586-0052 大阪府河内長野市河合寺423-6 TEL 0721-65-1821 FAX 0721-65-1472

資格証明書写し

受講資格ニ、ホに該当する方

「この写しは原本と相違ないことを証明します。」

令和 年 月 日

所在地
会社又は事業場名
代表者 職氏名

印

受講申込に当たっての注意事項

受講に当たっては、受講資格の有無について検討し、次の書類に所要の事項を記入のうえ提出して下さい。

イ 受講申込書(「記入上の注意事項」を参照して記入して下さい。)

ロ 受講票(写真貼付)

① 写真

申請前6ヶ月以内に撮影した上3分身、正面、脱帽、縦3.0cm×横2.4cmのもので、裏面に氏名を記入した上で、所定欄に貼付して下さい。

ハ 添付書類

① 卒業証明書(受講資格イ、ロに該当する方)

卒業証明書の発行年月日は問いませんが、**コピーは受け付けません**。もし、間に合わない場合は卒業証書のコピーに「この写しは原本と相違ないことを証明します」と記入し、**代表者の職氏名印による証明をコピーの余白**に受けて提出して下さい。

② 修了証等の写し(受講資格二、ホに該当する方)

修了証等をコピー(二、の作業主任者技能講習修了証は表裏ともコピーすること)し、「この写しは原本と相違ないことを証明します」と記入し、**代表者の職氏名印による証明をコピーの余白**に受けて提出して下さい。

(注)結婚などにより改姓したため、卒業証明書・修了証等と現在の氏名が異なっている場合は、戸籍記載事項証明を添付して下さい。

受講資格が「二、ホ」の場合

資格証明書写し

受講資格二、ホに該当する方 (必ず裏表をコピーして下さい)

●技能講習修了証明書の写し (①か②のいずれかを添付ください)

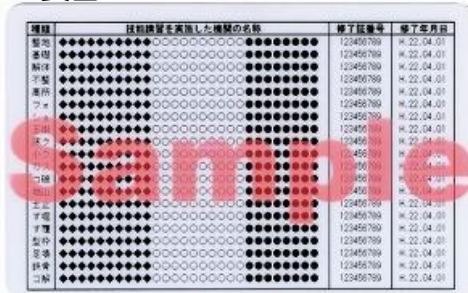
①か②のいずれかの写し

① 労働安全衛生法による技能講習修了証明書

< 表面 >



< 裏面 >



② プレス機械作業主任者技能講習修了証

<p style="text-align: center; font-weight: bold;">プレス機械作業主任者 技能講習修了証</p> <p style="text-align: center;">〇〇労働局承認 〇〇技能講習センター</p>	<p>修了証番号 1234 修了年月日 〇〇年〇月〇日 氏名：技 能 花 子 本籍：東京都 生年月日：〇〇年〇月〇日 住所：〇〇〇〇〇〇</p>
--	--

「この写しは原本と相違ないことを証明します。」

〇〇年△△月〇〇日

所在地

会社又は事業場名

代表者 職氏名

大阪府〇〇市△△町9-8-7

株式会社KAYAIN

社長 海河 太郎



※代表者印は必ず
押印ください

受講申請書の記入上の注意事項

<表面（1 ページ目）の記入方法>

- 「氏名」…戸籍上の氏名を記入し、ふりがなを付け、押印して下さい。
「現住所」…現住所（住居番号まで）、郵便番号、電話番号をもれなく正確に記入して下さい。
「勤務先」…会社名、工場、営業所、所属部・課・係及び入社年月日をご記入下さい。
「連絡先」…昼間に連絡可能な連絡先を必ずご記入下さい。

<裏面（2 ページ目）の記入方法>

- 「受講資格」…該当する学歴等の項目イ、ロ、ハ、ニ、ホのいずれかを○で囲んで下さい。
その○で囲んだ欄の右の「業務経歴」については、イまたはロ、あるいはハのいずれかを○で囲んで下さい。
「業務従事期間」・「業務内容」…業務従事年数の計算は、受講第1希望の開講日前日まで算入できます。
また、経歴が2以上の事業場にわたる場合は、事業場ごとに記入し、各々の代表者の証明を受けて添付して下さい。

「従事していた業務内容」…記入に当たっては、次の記載例に留意して正確にご記入下さい。

- (1) 受講資格に該当する業務内容の例として、次のようなものがあげられます。

以下のイ～ハ等に掲げられるプレス業務に係る業務割合(〇%程度)も併せて記載して下さい。

- イ. の動力プレスの点検業務には、定期自主検査、巡回機能点検など
イ. の動力プレスの整備業務には、修理のための分解・組立、部品交換、調整、試運転及び運転検査など
ロ. の動力プレスの設計業務には、全体設計、部分設計、部品設計及び改造設計など
ロ. の動力プレスの工作業務には、製造、修理、改造のための部品加工及び部品検査、製造のための組立、調整、試運転及び運転検査など
ハ. の動力プレスによる作業には、プレスによる加工（製品名、加工方法を記入する）など

- (2) プレス作業開始前、作業中、作業終了後の点検は、動力プレスの点検業務には該当しません。

- (3) 次の各装置等に関する業務は、動力プレスの点検、整備、設計及び工作の業務には該当しません。

(イ)金型 (ロ)材料供給・排出装置 (ハ)プレス機械又はシャーの安全装置 (ニ)シャー

「受講資格に係る添付書類」欄…受講資格イ、ロに該当する者のみ学校名、学部、学科をご記入下さい。この場合卒業証明書添付して下さい。受講資格ニ、ホに該当する者は、添付書類の欄2、に添付した書類に該当する項目を（例：プレス技能講習、〇〇〇〇訓練科など）ご記入下さい。

「事業場」欄…現在勤務している事業場についてご記入下さい。プレス保全課には、プレスの点検、整備の業務を専門に担当しているすべての部署を含みます。

最後に、申請書全体について、代表者による職氏名印（個人の認め印ではありません）により証明を受けてください。

【ご注意】

- 業務とは、主として従事していた作業のこと、換言すれば、<専ら従事していた作業>という意味です。
1年間の労働時間の大部分の労働時間、その作業に従事していたということです。
- 「動力プレスの点検（設計）又は整備（工作）の業務に7年（10年）以上従事した経験を有する者」とは、1年間の労働時間のうち、大部分の労働時間を動力プレスの点検（設計）又は整備（工作）の作業に従事し、しかもその期間が通算して7年（10年）以上になる者、という意味です。